

(別紙4(2))



事業所名 春風会かたおなみグループホーム

作成日: 平成 26年 3月 24日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	重度化した場合や、終末期ケア対応の指針をご家族に説明して契約時には意向を書面にて確認しているが、ご家族は入居者の状態変化に応じて気持ちの変化することも少なくはない。	変化時においては主治医やご家族と蜜に連携をとり、事業所として出来ることを十分に説明をさせて頂き、ご家族の意向を再度確認して方針の共有をしたうえで協力して取り組んで行く。	状態が変化した場合は改めて主治医からご家族に詳しい説明をして頂き、ご家族の意向を確認する。又書面においても、随時変更、選択することが可能で、ご家族が自由に思いを記載できる欄を加えるなどの工夫をして行く。	6ヶ月
2	18	ご入居者の希望に沿って戸外に出かけられるように、ご家族にも協力を得ながら支援しているところであるが、ご入居者が重度化する中で安全に楽しんでいただけるように支援するには人員的にも職員だけの対応では限りがある。	今後も職員、ご家族や近隣の方にも協力を得て当グループホームの立地的利便性を活かし社会資源を活用して、出来る限り日常的な外出支援が出来るように取り組んで行く。	外部からの外出のボランティアに来て貰ったり、実習生や研修生のプログラムの一つに外出支援を組み入れるなどして多くの協力と参加を求めていく。	6ヶ月
3	13	和歌浦の海辺に面しているため、大きな地震が起きれば津波の襲来は免れない。備蓄の保管場所や避難場所の確認等地域住民として防災に関する意識を高め、地域と共有して取り組まなくてはならない。	会社の防災マニュアルが作成された後は、昼夜を問わずご入居者と職員が避難できる具体的な避難マニュアルを作成して定期的に避難訓練を実施出来るように取り組んで行く。	災害が起こる時間帯、災害の大小や種類によっても避難方法は変わっていくため、より具体的な指針が示されたマニュアルを作成していく。津波が襲来することを前提としたライフジャケットやその他の避難用グッズの準備も検討する。	12ヶ月
4	20	昨年からの課題として居心地良く過ごせる居室の配慮として日頃目に付かない場所の掃除やタンスの中身の整理などをご入居者と一緒に取り組んできたが引き続き継続が必要である。又感染予防を視野にした衛生面の強化も課題である。	居室の整理整頓、羞恥心やプライバシーに配慮したオムツや洗濯物の収納の工夫をする。シーツ交換、手すりや床などの拭き掃除など衛生面にも日頃から取り組んで行く。	衛生面の強化として、定期的な食器のハイター付けや居室の掃除をする。お部屋担当者を中心にご入居者の希望に沿った整理整頓、家具や私物の配置などを一緒に考えて、居心地よく過ごしていただく。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。